

平成23年第2回定例会会議録

四市複合事務組合議会

平成23年四市複合事務組合議会第2回定例会会議録

◎議事日程

平成23年8月17日（水）

午後2時開議

諸般の報告（議案の送付、出席通知）

招集あいさつ

第1 会期決定の件

第2 認定第1号 決算の認定について

第3 会議録署名議員の指名

◎本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午後2時1分開会

○議長（横山博美議員） 出席議員数が定足数に達しておりますので、ただいまから、平成23年四市複合事務組合議会第2回定例会を開会いたします。

○議長（横山博美議員） これより会議を開きます。
議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

○議長（横山博美議員） この際、諸般の報告をいたします。
報告事項は、お手元に配付したとおりであります。
[諸般の報告は巻末に掲載]

○議長（横山博美議員） ここで、管理者に定例会招集のあいさつをお願いいたします。

○管理者（藤代孝七市長） 本日は、皆様方には大変お忙しい中ご出席をいただきまして、ありがたく思います。
日ごろから本組合事業に温かいご支援を賜り、厚くお礼を申し上げる次第であります。

さて、本日ここに、平成23年四市複合事務組合第2回定例会を招集いたしましてご審議をお願いする案件は、認定第1号、平成22年度決算の認定であります。本件は、地方自治法第233条第3項の規定によりまして、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものでございます。この内容につきましては、後ほど説明をさせていただきますが、ご審議の上、認定いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この際、第2斎場整備事業の現状についてご報告させていただきます。

本事業は、平成22年度において基本計画を策定し、組合議員の皆様並びに関係市に説明をさせていただいたところでもございます。一方、具体的な事業の着手に向けては、建設地周辺の方々のご理解を得るべく努めておりますが、今なお、厳しいご批判もございまして、今年度予定の環境影響評価の調査などを見合わせている状況でございます。いずれにいたしましても、引き続き誠意を持って、地域の方々との対話を重ねることが大切であると考えております。そして、一日も早い完成を目指して、地元八千代市との連携を図りながら鋭意努力をしておりますので、組合議会並びに関係市の皆様には一層のご支援を賜りますよう

お願い申し上げまして、定例会招集のあいさつとさせていただきます。

○議長（横山博美議員） これより日程に入ります。

日程第1、会期決定の件を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日1日としたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日1日と決しました。

○議長（横山博美議員） 日程第2、認定第1号決算の認定についてを議題とします。

〔認定第1号は巻末に掲載〕

○議長（横山博美議員） 提出者から説明を求めます。
事務局長。

○事務局長（川崎和信） ただいま議題となりました認定第1号、平成22年度四市複合事務組合決算についてご説明させていただきます。

お手元の決算書の3ページをお開き願います。

歳入歳出決算でございますが、歳入歳出予算現額11億5,375万円に対しまして、歳入の収入済額が11億7,728万5,523円、収入率は102%となります。

なお、不納欠損額及び収入未済額はございません。

一方、歳出につきましては4ページとなりますが、支出済額は10億7,442万9,372円で、執行率は93.1%となります。

5ページでございます、歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差し引き残額は1億285万6,151円でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書についてご説明いたします。9ページをお開き願います。

まず、歳入からご説明いたします。

1款分担金及び負担金でございます。これは介護保険法に基づいた特別養護老人ホーム三山園にかかわる施設利用負担金と、三山園及び馬込斎場の施設整備に伴う起債の償還金並びに馬込斎場の管理運営費及び第2斎場整備にかかわる経費、そして議会と事務局の運

営にかかわる経費に対する関係4市からの分賦金などの収入でございます。

本年2月の平成23年第1回定例会におきまして、第2斎場整備に係る委託料につきまして、地元の理解が得られず執行を見合わせたことから減額の補正を行ったことに伴い、その財源としての2目の衛生費負担金の関係市分賦金も6,215万円減額する補正を行いました。その結果、予算現額は9億1,372万1,000円となり、収入済額は8億9,924万7,291円で、差し引き1,447万3,709円の減収となりました。減収の主な理由でございますが、特別養護老人ホーム三山園の入所者数が当初の見込みを下回ったことにより、1目の民生費負担金における介護老人福祉施設利用負担金等が減収となったものでございます。

次に、10ページ、2款使用料及び手数料でございますが、これは主に馬込斎場の使用料収入でございます。予算現額1億1,968万円に対し、収入済額は1億2,525万2,422円で、差し引き557万2,422円の増収となっております。主な増収理由といたしましては、火葬件数が当初見込みを上回りましたことに伴い、火葬、遺体保管室及び霊柩自動車等の使用料がふえたものでございます。

次に、11ページ、3款財産収入でございます。これは退職手当基金の運用に伴う収入で、3万2,515円となっております。

次に、5款繰越金でございますが、これは平成21年度からの繰り越して1億3,504万6,278円でございます。

次に、12ページ、6款諸収入でございます。これは馬込斎場におけるひつぎ、納骨容器等の売り払い収入と三山園及び馬込斎場における雑入でございます。予算現額441万7,000円に対し、収入済額は558万7,017円で、117万17円の増収となりましたのは、納骨容器等の売り払いが見込みを上回ったことによるものでございます。

最後の7款繰入金でございますが、三山園におきまして職員の普通退職者がありましたことから、退職手当基金から1,212万円を取り崩し、繰り入れを行ったものでございます。

以上が歳入の概要でございます。

続きまして、歳出についてご説明いたします。13ページをお開き願います。

まず、1款議会費でございます。これは組合議会運営に要する経費で、予算現額220万円に対し207万5,498円を支出いたしました。

次に、14ページ、2款総務費でございますが、これは特別職及び事務局職員の人件費と組合の運営経費でございます。予算現額8,290万円に対し8,015万5,102円を支出いたしました。不用額は274万4,898円でございますが、これは3節職員手当等、4節共済費などの人件費が当初の見込みを下回りましたことから生じたものでございます。

次に、16ページ、3款民生費でございます。これは特別養護老人ホーム三山園の管理運営にかかわる経費でございます。予算現額4億7,737万4,000円に対し、支出済額は4億7,195万287円、不用額は542万3,713円となります。

不用額の主なものは、2目老人福祉施設費において、18ページにございます11節需用費の賄材料費で入所者が見込みを下回りましたことにより減額となったこと、また、13節委託料、14節使用料及び賃借料において契約差金が生じたことによるものなどでございます。

次に、同じく18ページの4款衛生費でございます。これは馬込斎場の管理運営にかかわる経費及び第2斎場整備に係る経費でございますが、先ほど歳入の1款分担金及び負担金のところでご説明申し上げましたように、第2斎場整備費の委託料につきまして、6,215万円の減額補正を行っております。その結果、予算現額4億3,714万4,000円に対しまして、支出済額は4億1,121万9,438円、不用額は2,592万4,562円となります。

この内訳といたしましては、1目の斎場総務費では、3節職員手当等及び4節共済費等において見込みを下回りましたことなどから479万2,546円の不用額が生じてございます。

また、20ページの2目斎場施設費についての不用額1,820万6,525円の主な理由は、11節需用費で燃料費及び光熱水費の支出が見込みを下回りましたこと、また、

13節の委託料や15節工事請負費におきまして契約差金が生じたことなどによるものでございます。

3目の第2斎場整備費についてでございますが、当初予算に計上しておりました第2斎場予定地とその周辺の環境影響評価調査、埋蔵文化財調査及び確認調査障害物撤去の委託事業の実施が難しいと判断されましたことから減額の補正を行いました。不用額につきましては292万5,491円が生じた主な理由は、19節負担金補助及び交付金において、第2斎場整備室への関係市派遣職員の人件費負担金が見込みを下回ったことなどによるものでございます。

なお、ここで第2斎場整備事業の現況等についてご報告をさせていただきます。

本事業におきましては、管理者のごあいさつにもありましたように、事業推進に向けて基本計画の策定などを行う一方で、建設地周辺の方々のご理解を得るために努力をしているところでございます。平成21年5月15日には周辺住民の方々などを対象とした説明会を開催いたしました。用地決定方法などに対する厳しいご意見やご批判が示され、十分な説明ができないまま終了いたしました。

このほか、睦地区の各自治会長等代表者で構成される第2斎場建設反対委員会等とは5回の懇談会を開催し、意見交換を行いました。中でも、昨年8月18日開催の懇談会には豊田八千代市長さんがご出席をされ、事業への協力要請が行われましたが、依然として住民の方々の厳しい姿勢に変わりはありませんでした。

このような中で、八千代市から近隣自治会を対象とした説明会開催のご提案がありましたことから、去る8月4日に桑橋区と桑納区の自治会を対象とした説明会を開催いたしました。説明会には、両自治会合わせて約200世帯のうち47人ほどの方々が出席をされました。当日、豊田八千代市長さんからは、斎場の市内誘致や地域対策事業など、本事業に対する市のお考えをお話いただき、第2斎場建設へのご理解を要請していただいたところでございます。組合からは、第2斎場建設地に関する経過説明と基本計画の概略を説明させていただきました。お集まりいただいた方々のご意見の多くは、建設地の決定方法に対する不信や不満と

地域環境への影響を指摘するものでありまして、大方のご理解を得るまでには至りませんでした。このような状況にあります。今後とも八千代市と共同して、地域の方々との対話を重ねてまいりたいと考えておりますので、関係市の皆様方のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

以上、第2斎場整備事業の現況等の説明とさせていただきます。

引き続きまして、決算書に戻らせていただきます。

最後に22ページ、5款公債費でございますが、予算現額1億996万3,000円に対しまして1億902万9,047円を支出いたしました。内訳といたしましては、三山園につきましては、建てかえ事業にかかわる平成12年度から15年度組合債の元利償還金でございます。また、馬込斎場につきましては、空調熱源更新事業に係る平成8年度組合債及び火葬炉増設事業に係ります平成16年度組合債の元利償還金でございます。

以上の結果、歳入歳出差し引き残額は、冒頭にも申し上げましたとおり1億285万6,151円となり、翌年度に繰り越すこととなりました。

簡単ではございますが、平成22年度歳入歳出決算の概要につきましてご説明をさせていただきました。何とぞご審議の上、ご承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

説明は以上でございます。

.....

○議長（横山博美議員） これより質疑に入ります。

なお、質疑の際は、できるだけ決算書等のページを添えていただくとわかりやすいと思いますので、よろしくお願いいたします。

質疑ありませんか。

中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 決算書の20ページの第2斎場整備費について伺いますけれども、今もご説明があったんですが、候補地を決定してから周辺住民に説明をするという、そのやり方、決め方が周辺住民の反感を買う大きな要因だったんじゃないかなと感じるんですが、このやり方というのは問題あったんじゃないでしょうか。どうでしょうか。

○議長（横山博美議員） 事務局長。

○事務局長（川崎和信） 八千代市の用地選定につきましては、公募という方式で実施をいたしました。これにつきましては、選定方法を調査したわけではございませんけれども、議会の行政視察先、あるいは馬込斎場へ視察に来られた市の中で公募により行ったという例は聞いたことがありませんので、まれなケースになるのではないかと考えております。しかし、公募につきましては、八千代市の誘致の意向と公募による候補地提示の方針を関係市、組合議会へ説明する過程の中で検討がなされ、異論がなかったことから、八千代市の意向に沿って実施されたものと考えております。決定に当たりましては、公募ということもございまして、候補者のプライバシーを守るとか、あるいは選定の過程を非公開でやらざるを得なかったとかという、そういったところにも配慮してなされたものでございまして、問題があったとは考えてございません。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 問題なかった、まれな例だったというお話なんですけれども、今、現実に周辺住民との間で、入り口で選び方のところで不信を買っちゃっているわけですよね。今の現状を考えると、ほかの例がどうかということとはとりあえず置いておいて、やっぱり選定する段階から候補地を公表して、周辺住民の意向も選定の条件にするということもあり得たんじゃないかなと感じるんですよ。第3斎場がいつどうなるかというのはわかりませんが、こういう用地の問題もありますので、今の段階でどう評価されるかというのは問題なかったという評価でいいのかなと思うんですけれども、いかがでしょう。

○議長（横山博美議員） 第2斎場整備室長。

○第2斎場整備室長（吉野裕重） 選定につきましては、ただいま局長から申し上げたとおりでございます。当時、私ども事務局担当といたしましては、八千代市さんの公募による応募者を引き継ぐ段階で、やはりプライバシーの保護、あと公正な選定を確保するという、組合が選定委員会による選定を引き継いだ段階におきましても、選定委員会の中でその2点につき

まして重視いたしまして、応募者の情報につきましては、やむなく非公開とせざるを得ませんでした。それによりまして、地域の方々には決定後のお知らせということで大変ご不満を買っておりますけれども、これにつきましては、やむを得ない事情の中で行われたということ。それから、今1点、選定段階において地域の意見を聞くというご意見がございましたけれども、先ほど申し上げましたような状況の中では、地域のご意見を聞くことは各候補地、候補者の混乱を招くということで、実際公表することはできませんでした。

以上です。

○議長（横山博美議員） 中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 公正な選定をするために必要だったということをおっしゃったわけなんですけれども、また、混乱を招かないようにというお話もあったんですが、現地は今混乱しているわけですね。斎場といった施設を整備するに当たっては、やっぱり周辺住民の意向というのは重要な条件になるんじゃないかなと思うんです。そこで賛同が得られないという状況になると、今回のように行き詰まってきちゃうということを考えると、逆に選定をスムーズに進めるためにも、また混乱をなるべく回避して整備を進める上でも、やっぱり事前に周辺住民の意向を調査するとか、説明して意見を聞くとか、そういうことが必要だったんじゃないかなと思うんです。そこら辺、公正な選考、選定とか混乱ということとの関係で考えても、そのほうがよかったんじゃないかなと思うんですけれども、どうでしょうか。

○議長（横山博美議員） 第2斎場整備室長。

○第2斎場整備室長（吉野裕重） 選定委員会が一番の判断者でございますけれども、選定段階で地域の意見を聞きながらということのほうが大きな混乱を招くと、そのように判断したということでございます。

○議長（横山博美議員） 中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 見方の違いだと思っておりますけれども、今後の問題ですけれども、スケジュールについてはどういう見通しを持っていますでしょうか。

○議長（横山博美議員） 第2斎場整備室長。

○第2斎場整備室長（吉野裕重） 私どもが昨年まと

めました第2斎場の基本計画の中では、馬込斎場の火葬能力の限界を27年度ととらえて作成しております。そのようなことから、一刻も早く、この第2斎場整備を完了しなければいけないと考えておりますけれども、何分にも地域の方々のご理解をいただくということが第一に大切であると考えておりますので、できるだけ今後も地域の方々との話し合いを重ねることによって、少しでも早く着手できるように努力したいと思います。

○議長（横山博美議員） 中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 実際に組合のほうというか、整備室のほうでは見込みを持ってやっていたらっしゃいますか。できると思って、そういう考えでやっていたらっしゃるのか。いろいろ状況を伺っていると、行き詰まって、ずっと平行線のような感じがしてしょうがないんですけれども、大丈夫なんでしょうか。

○議長（横山博美議員） 第2斎場整備室長。

○第2斎場整備室長（吉野裕重） この計画に限らず、斎場事業は全国どこでも長期化するのが一般でございます。だからといって、時間をかけてよいとは申しませんが、私ども、現段階での見通しは具体的には申し上げられませんけれども、少しでも早く完成を目指す、その一念でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 仮の話ですけれども、周辺住民の賛同が得られなかったような事態が続いていく場合、いわゆる強行することというのは選択肢としてあるんでしょうか。どうなんでしょうか。

○議長（横山博美議員） 事務局長。

○事務局長（川崎和信） 現時点では強行だとか、そういうことは考えずに、周辺地域の皆様方には大変ご迷惑をおかけすることにはなりますけれども、馬込斎場の混雑緩和と四市の将来の火葬需要の増加にこたえるためには、なくてはならない施設でございますので、少しでもご理解がいただけるよう、八千代市と共同して説明や話し合いの機会を重ねることが今は大事かと考えておりますので、それに努力してまいりたいと、このように考えております。ご理解いただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 最後にしますけれども、そういうやり方を考えてないというお話なんです、例えば仕切り直して、周辺住民の意向も聞くような形で選定をし直すとか、そういうやり方をとったほうが、もしかしたら早く進むような可能性もあるんじゃないかなという気がするんですけども、そういう可能性というか、選択肢というか、そういうことは検討はされませんかでしょうか。

○議長（横山博美議員） 事務局長。

○事務局長（川崎和信） 第2斎場の整備につきましては、平成12年当時から将来の整備計画等の検討を開始いたしまして、船橋市を除く構成市へ適地の提供をお願いしてまいりました。各構成市におきましても、いろいろと協議、検討がなされた中で、最終的には八千代市から誘致と公募方式による提示の意向が示され、その意向に沿って選定作業がなされたものでございます。長い時間の中で積み重ねられた検討経過を無にすることにもなりますので、現在、建設地を見直すことは考えてございません。

以上でございます。

○議長（横山博美議員） 他に質疑ありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終結します。

.....

○議長（横山博美議員） これより討論に入ります。

討論はありますか。

中沢学議員。

○4番（中沢学議員） 認定の立場で討論いたします。第2斎場の件ですけれども、現時点で周辺住民の皆さんに誠意を持って説明を続けるということはそれとしてやっていただきたいと思いますが、それに加えて、どうしたら、よりスムーズに整備が進むのかという点で、さっき言いました住民の意向を聞きながら選定し直してみるとか、そういう選択肢も含めて柔軟な発想で取り組んでいていただきたいということを要望して認定といたします。

○議長（横山博美議員） 他に討論ありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（横山博美議員） 討論なしと認めます。

よって、討論を終結します。

.....

○議長（横山博美議員） これより採決に入ります。

本件を認定することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（横山博美議員） 起立全員であります。

よって、本件は認定することに決しました。

.....

○議長（横山博美議員） 日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に川井洋基議員及び海老原高義議員を指名します。

.....

○議長（横山博美議員） 以上で、本定例会の会議に付された事件の審議は全部終了しました。

.....

○議長（横山博美議員） これをもちまして、平成23年四市複合事務組合議会第2回定例会を閉会します。大変お疲れさまでした。

午後2時33分閉会

.....

〔出席者〕

◇出席議員（12人）

議長	横山博美
副議長	田中真太郎
議員	清水聖士
	吉野良一
	中村実
	中沢学
	川井洋基
	池沢敏夫
	海老原高義
	豊田俊郎
	高橋剛弘
	宮本泰介

.....

◇説明のため出席した者

管 理 者 藤 代 孝 七
副 管 理 者 松 戸 徹
会 計 管 理 者 瀬 上 きよ子
事 務 局 長 川 崎 和 信
管 理 次 長 湯 浅 孝 雄
第2斎場整備室長 吉 野 裕 重
三 山 園 長 滝 口 統 弘

斎 場 長 杉 山 肇
代 表 監 査 委 員 高 地 章 記

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名
する。

四市複合事務組合議会議長 横 山 博 美
四市複合事務組合議会議員 川 井 洋 基
四市複合事務組合議会議員 海老原 高 義